

平成26年 第13回教育委員会会議録

1 日 時

平成26年10月24日（金）

開会 10時00分

閉会 11時00分

2 場 所

教育委員会室

3 出席した委員

金田清委員長、横山真紀委員、橋正徹委員、中村健一委員、眞鍋知子委員、
木下公司教育長

4 説明のため出席した職員

平島敏彦教育次長、齊田正活教育次長、金戸清外志教育次長兼庶務課長、表純一教育
次長兼教員指導力向上推進室長、竹中功教育次長兼学校指導課長、官崎栄治教職員課長、
坂井芳子生涯学習課長、柴田政秋文化財課長、森山喜博スポーツ健康課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第36号 教職員の人事について

(原案可決)

6 報告案件

報告第1号 第69回国民体育大会における本県選手団の成績について

報告第2号 平成26年度いしかわマスター教員の決定について

8 審議の概要

・開会宣告

金田委員長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第36号及び報告第2号は、人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び
運営に関する法律第13条第6項に基づき非公開とすることを、全会一致で決定。

・質疑要旨

報告第1号 第69回国民体育大会における本県選手団の成績について
(森山スポーツ健康課長説明)

資料1ページをご覧ください。

10月12日から22日まで、中心会期の競技が開催されておりました「第69回長崎がんばらんば国体」におきまして、本県選手団は各競技において健闘し、1の「男女総合成績」、いわゆる天皇杯における都道府県別成績で、得点は目標としていた1000点を5年ぶりに上回る1027.5点を獲得し、順位は、昨年の28位を12上回り、20年前の平成6年愛知国体に並ぶ16位という好成績をあげることができました。

3の「本県選手入賞数」につきましては、団体で23、個人で53となり、4の「本県の優勝」では、団体で相撲少年男子が5年ぶり9度目の優勝で、4位入賞した成年と合わせ、2年ぶり9度目の競技別総合優勝を果たしたほか、バドミントン成年男子が34年ぶりの決勝進出で初優勝し、ハンドボール成年女子の北國銀行が2連覇（7度目の優勝）を達成しました。

個人では、カヌー成年女子で笹生選手が9連覇、成年男子の松下選手が2年ぶり5度目の優勝、水泳成年女子の飛込の中川選手が3年連続8度目の優勝を果たしたほか、ウェイトリフティング少年男子の柳生選手と相撲成年男子の荒木関選手が初優勝、陸上成年男子の競歩で鈴木選手が2年ぶり2度目の優勝と、5競技6種目で優勝者が出ております。

今大会で、目標としていた1000点を突破できたのも「チーム石川」を合い言葉に、強化に取り組みされた選手、監督の皆さんの努力の賜であり、心から敬意を表するものであります。

今後とも、県体育協会や競技団体等と、より一層連携を密にし、競技力向上に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

【質疑】

(橋正委員)

とてもうれしいニュースが飛び込んで来て、本当に喜んでいきます。

東京オリンピックが決まり、どこの県も力が入っていると思いますが、その中で石川県がすごく躍進したということは、本当に嬉しいニュースでした。

今後ともオリンピックに焦点をあてて、この後に続く人の育成に力を入れて続けていってほしい。期待をしています。

(金田委員長)

育成策はどんなものでしょうか。

(森山スポーツ健康課長)

今年度、グローバルアスリート支援事業で8団体を指定させていただき、特に中学、高校生を強化していきたいと思っています。その中でこういう成績が修められたということで大変喜んでいきます。

(木下教育長)

ジュニア層に危機感がありましたので、近年はジュニア層の強化に力を入れていたということもありますし、2020年にオリンピックもあることから団結力など、そういった面も強くなったのかと思っています。

(金田委員長)

球技は、やはり難しいのですか。

(森山スポーツ健康課長)

人数の多い団体競技は、なかなか選手を揃えるのが大変なもので難しい。

(金田委員長)

相撲、バドミントン王国として、個人の成績が良いですね。

(木下教育長)

それ以外にも、柔道、剣道もベスト8に入った。

(中村委員)

次に高校駅伝が頑張ってもらいたい。

毎年見てると何となく厳しい状況だが、でも女子で足の速い子がいましたよね。

(森山スポーツ健康課長)

短距離の選手で筑波大学に行った神保ですね。

(金田委員長)

あの400mリレーはすばらしかったね。

(木下教育長)

高校駅伝は、あの手この手で頑張っているのですが、なかなか結果がついてこないです。

(金田委員長)

厳しいと思うが、この順位を維持しながら若手を育成し、頑張っていってほしい。

(金田委員長)

以降の審議については、非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

報告第2号 平成26年度いしかわマスター教員の決定について（非公開）

宮崎教職員課長が説明した。

(金田委員長)

人事担当教育次長以外の教育次長と、庶務課長及び教職員課長以外の課長の退出を求める。

議案第36号 教職員の人事について (非公開)

宮崎教職員課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・閉会宣言

金田委員長が、閉会を告げる。